

(社)日本家政学会 平成22年度第4回(通算440回)理事会議事抄録

開催日時 : 平成22年9月11日(土) 13:30~19:00

開催場所 : 日本家政学会会議室

出席者: 大竹会長, 小川副会長, 中島副会長, 猪又, 大塚, 平田(耕), 布施谷各理事, 牛腸, 石原, 平田(道), 長山各支部長理事, 久保田監事

委任状: 佐々井副会長, 石井, 表, 香西各理事, 浜島, 清水各支部長理事

欠席者: 今井監事

【審議事項】

1. 入会申込者の承認について

中島副会長から、資料4に基づき、平成22年6月12日~9月10日の入会申し込み者36名および賛助会員申し込み1件が報告され、満場一致で入会が承認した。

2. 会員管理について

中島副会長から、資料5に基づき、会員番号を導入すること、入会を電磁的方法による臨時理事会の開催で承認すること、年会費の第1回請求を現在の4月から3月上旬に変更することについて説明があった。これらの取り扱いについては、満場一致で承認した。

3. 平成23年度の総会・大会開催について

小川運営委員長から、資料6に基づいて説明があった。公開シンポジウムのテーマについて、中島実行委員長、企画委員会(小川副会長、支部長)からいくつかの案が示され、テーマの方向としては「生活支援」とし、今年度は「企画委員会」が決めることにした。これらの取り扱いについては、満場一致で承認した。

4. 大会への招待者について

小川運営委員長、平田第62回大会実行委員長から、資料7に基づいて説明があった。大会への招待者(懇親会含む)、懇親会への招待者、授賞式のみ参加案内の3種類がある。いずれも、費用は大会実行委員会が負担する。ただし、旅費は出さない。招待状は会長名とする。この取り扱いについては、満場一致で承認した。

5. 新法人制度への対応について

大竹会長から、資料8に基づいて説明があった。電子申請の申請時期については、満場一致で承認した。

6. 新選挙規程について

大竹会長から、資料No.9に基づいて支部選挙規程(案)および日本家政学会役員選出規定(案)の説明があった。理事の選出では会長、副会長を除いた12名の理事を選出するが、この12名に支部長理事が含まれる。会長指名理事については、新しく選挙により選出された会長が理事候補者を2名指名できることにした。支部選挙規程(案)及び日本家政学会役員選出規定(案)について、満場一致で承認された。

7. 生活経営学部会規約改正及び新部会長の承認について

小川副会長から、資料10に基づいて説明があった。8月25日に遡って、満場一致で承認された。

8. 活動助成金について

小川副会長から、資料11に基づいて説明があり、満場一致

で承認された。来年度から、①活動の目的・内容に「家政学の内容を広めること」が入っており、②講演者に家政学会員が含まれること、③その活動が公開されて聴講者に会員以外の一般の方も含まれることの3条件を満たしている活動を助成対象とすることが提案された。これについても、満場一致で承認された。

9. 平成23年度科学研究費【研究成果公開促進費】の申請について

学会誌については申請する。公開シンポジウムについては1件のみ申請できるので、部会から希望を募り、調整して申請する。これらの取扱いについて、満場一致で承認された。

10. その他

(1)「生活やものづくりに必要な学びの充実をめざすネットワーク」について

猪又理事から資料12に基づいて、ネットワークの年会費を2口10,000円とすること等の説明があり、満場一致で承認された。

(2)北京清華大学政治研究センター経済学研究部からの依頼について

大竹会長から資料13に基づいて説明があり、検討の結果、もう少し詳しいことを確認することにした。

【報告事項】

1. 退会申出者及び会員動向

中島副会長から資料14に基づき、平成22年度末退会申出者14名、平成21年度末退会申出者3名、会員の現況報告、支部移動、氏名の変更、会員種別移動について報告された。現況は、正会員2,862名、学生会員241名、合計3,103名である。

2. 第62回大会(広島)の記録について

平田第62回大会実行委員長から報告書が回覧された。

3. 中部支部賞授賞内規について

石原支部長が資料15に基づき、中部支部の支部賞授賞内規を制定されたことを報告した。

4. サイエンスカフェの開催について

小川副会長が資料16に基づき、10月30日に東北・北海道支部担当により札幌で開催されるサイエンスカフェについて報告した。

5. 支部関係

東北・北海道支部(浜島支部長)、関東支部(牛腸支部長)、中部支部(石原支部長)、中国・四国支部(平田(道)支部長)、九州支部(長山支部長)から支部報告があった。

6. 企画・広報関係

小川副会長から、化学熱力学国際会議でのポスター発表について報告された。

7. 編集委員会

平成23年度の大会の研究発表の複合領域について、プログラム委員会で検討することが確認された。

8. 国際交流委員会

平田耕造委員長から、資料18に基づいて報告があった。

以上